

三河安城交流拠点検討審議会第1回 議事（要旨）

日 時	令和5年10月26日（木）午後2時～3時40分	
場 所	市役所本庁舎 第10会議室	
出席者	委員	中村郁博会長、前田博副会長 上林功委員（オンライン）、桂田隆行委員
	事務局	市長、副市長、行革・政策監、健幸=SDGs課長、健幸=SDGs課主幹、 健幸=SDGs課プロジェクト推進係職員、デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社
次 第	<p>1 辞令交付</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 自己紹介</p> <p>4 会長の選任、副会長の指名</p> <p>5 会長あいさつ</p> <p>6 諮問</p> <p>7 議題</p> <p>（1）担当事務について</p> <p>（2）申出の内容及び本市の検討経緯について</p> <p>（3）施設計画について</p> <p>（4）論点整理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上位計画等の整理 ・スタジアム・アリーナ改革指針等 ・事業収支 ・経済波及効果 ・事業スキーム比較 ・計画主体からの提案に対する調整事項 <p>5 各委員からの自由意見について</p>	

- 1 辞令交付
- 2 市長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 会長の選任、副会長の指名
- 5 会長あいさつ
- 6 諮問
- 7 議題
 - （1）担当事務について
 - （2）申出の内容及び本市の検討経緯について
 - （3）施設計画について
 - （4）論点整理について

（事務局説明）

【前田副会長】

今回の負担付き寄附では、民有地に民間が建物を建て、建物のみ市へ寄附し、運営や維持管理は民間が負担し、収入も民間が得られるものと理解した。

【桂田委員】

経済効果は30年で算出しているが、市としてアリーナの稼働期間は30年と決めているのか。

【前田プロジェクト推進係長】

決めておらず、経済効果は参考として示したものである。

【桂田委員】

施設運営に対する補助は予定しないとのことだが、これは必ず補助は行わないことを意味するのか、それとも原則行わないが状況に応じて補助を検討することもあり得るとの意味か。

【前田プロジェクト推進係長】

金銭支援は行わない。ただし市民ニーズに応じてイベント等を委託する可能性はある。

【桂田委員】

建設支援に関して、どのような交付金の活用を想定しているか。市に資金負担のない国からの交付金制度はあるのか。

【前田プロジェクト推進係長】

都市構造再編集中支援事業、デジタル田園都市国家構想交付金など、申出に基づいて判断している。交付金は一定の割合で国と市が負担することになる。

【中村会長】

寄附の対象物に交付金を活用することに関して、法的な問題はないか。

【前田プロジェクト推進係長】

支障ないと判断している。

【桂田委員】

事業主体の考える事業収支および経済波及効果、それぞれの算出根拠を確認するため、賃料単価、稼働日数など明細資料を後日提示いただきたい。

配布資料ではPFIなど様々なスキームを比較記載しているが、今回は負担付き寄附の可否のみ審議すればよいのか。

本件は民地の上に建つ公共施設になるため、公共サービスとしての持続性が担保できるかは重要な論点と考えている。

寄附対象物の建設費の一部が交付金の形で国費等賄われる負担付き寄附の事例はおそらく全国初となるが、法律上や制度運用上の支障はないか。

【前田プロジェクト推進係長】

支障はないと考えている。ただし、交付金を投じる場合は、その目的外での使用ができないなど一部に制約が生じることになる。

【上林委員】

DX、デジタル化に関する考え方、上位計画はあるか。アイシン社提案でもDXによる利便性向上が謳われているが、それらを単にエンタメ用途にとどめることなく、市民に資する仕組み・契機として誘導していくべきと考えている

【横手行革・政策監】

来年度改訂予定の安城市DX推進計画で、行政事務、市民・事業者によるデータ利活用、円滑にICTの活用を行える環境整備に関して取り組んでいるが、アリーナを想定した具体的な計画はない。

【上林委員】

近年では来場者の行動や属性に関するデータ取得・活用などが活発化しているが、データや知財の帰属についてはあらかじめ整理しておく必要があると考えている。

【前田副会長】

建設費はアイシン社が負担するとは言うものの、明細がなく、思わぬ建設費増大時に、施設としての品質が担保できるのかなど懸念がある。また、自主事業に関して、上位計画との整合性については詰める必要がある。リストアップされた自主事業は、Bリーグの開催日程と両立できないかもしれない。

市民に分かりやすい議論を心掛けてほしい。

【桂田委員】

審議会の回数を増やすか、次回の審議時間を延ばすなど検討いただきたい。

【大屋健幸=SDGs 課主幹】

リモートでよろしければ設定させていただく。

【中村会長】

各委員から議論すべき論点について提示するので、事務局で各論点について整理、例えば諮問の対象外のものの仕分けなどをしたうえで、次回リモートで論点を整理する機会を設けていただきたい。

【桂田委員】

今回の審議では、市のメリットやリスクだけでなく、市民にとってのメリット・利益という観点から議論させていただきたい。

アリーナの外観についてデザインコンセプトも教えてほしい。

【上林委員】

コンコースの外側に半屋外の空間を設けるアリーナ提案は他に例がなく面白い。将来の拡張性や外部空間との連携強化など意味のあるデザインであればよいと思う。

【中村会長】

安城市の産業には偏りがあり、第1次、第2次産業が強い一方、第3次産業に課題があるのではないかと感じている。今回のアリーナは産業構造多様化の起爆剤になり得るものと捉えてほしい。産業にはそれぞれ浮き沈みがあるため、多様性を持つことが重要だ。

以上